

8月5日(金)発行

当日の感動を
すぐお届け!!

特別協賛: **TOSHIBA**
Leading Innovation >>>

ほぼ

日刊サマーミュージック

Hobo Nikkan Summer Muza

朝刊

バレエとオーケストラの壮麗な競演



8月4日(木) 洗足学園音楽大学「チャイコフスキー三大バレエ」撮影：青柳聡

夏はバレエの季節。各所でガラ公演が華やかに開催されているなか、サマーミュージックではバレエコースを持つ洗足学園音楽大学による「チャイコフスキー三大バレエ」が行われた。演目は、牧阿佐美バレエ団クラスが「くるみ割り人形」、グローバルクラス(東京シティ・バレエ団)が「白鳥の湖」、谷桃子バレエ団クラスが「眠れる森の美女」のそれぞれ抜粋を上演。洗足学園ニューフィルハーモニック管弦楽団を秋山和慶が指揮するとあって、今年も大勢のお客様が来場した。

ダンサーは学生とバレエ団の

混成メンバーだが、バレエコースを創設したての昨年の公演はまだ学生が少なく、バレエ団ダンサー中心の舞台だった。今年は学生も増え、主役はバレエ団の看板ダンサーであるものの、それ以外の場面をリードしたのは学生たち。1年間の成長は著しく、それぞれがソリストとして舞台の中心で踊り、さまざまな表現やテクニックで魅せた。

主役陣は、「くるみ割り人形」金平糖の佐藤かんなの丁寧な踊りが印象的で、「白鳥の湖」オデットの中森理恵の研ぎ澄まされた動きに息を呑んだ。「眠れる森の美女」オーロラ姫の佐藤

麻利香、デジレ王子の三木雄馬のパ・ド・ドゥは気品に満ち、コーダでは三木のダイナミックで美しい跳躍も目を引いた。

秋山の指揮は、ダンサーに温かく寄り添いながらも、強い推進力をもって情熱的にチャイコフスキーを響かせる。オーケストラは気持ちいいほどたっぷり奏で、各場面ともバレエとオーケストラの壮麗な競演が実に楽しかった。ミュージックの音響のもとで観て聴くバレエ。来年の公演も大いに期待したい。

榊原律子(音楽ライター)



ゲネプロ後、出演者全員で記念撮影!

8/4 洗足学園音楽大学

お客様の声から♪

白鳥の湖のバレエが本当に白鳥みたいでした。(10歳・小学生・ニコニコ) / バレエ見たの生まれてはじめてです。楽しかった! 夢の国だった! (匿名) / オーケストラとダンサーが同じステージの上にいる、このバレエはミュージックならではの背景がないのが余計にダンサーの衣装とダンスを際立たせていました。(50歳・会社員・川崎のYoko) / 洗足音大のオケが素晴らしかった。(匿名) / 11歳と17歳の子供も感動してむりもせず、楽しんでいました。(母) / 各バレエ団とオケの技術、秋山先生のコーディネート力もさすがでした。(58歳・会社役員) / 今年はチケット注文した時にはサイドしか空いてなくて…来年は早めに注文して正面の席で鑑賞したいです。(でもサイド席でも充分楽しめました!) (60代) / 音楽とバレエにひたる優雅な時間を堪能することが出来て幸せです。(匿名) / チャイコフスキーのバレエ音楽はやはりバレエと一緒に観るのが最高。(52歳・会社員・しんのすけ)

NEXT!! フェスタサマーミュージック

明日はどう聴く? 20代応援団がナビゲート!

8月6日(土) 11:00 開演
イツ・ア・ピアノワールド
ピアノ: 小川典子

8月6日(土) 18:00 開演
真夏のバッハ
松居直美パイプオルガン・リサイタル
オルガン: 松居直美 ソプラノ: 森 麻季(ゲスト出演)
フルート: 濱崎麻里子(東京交響楽団フルート奏者)

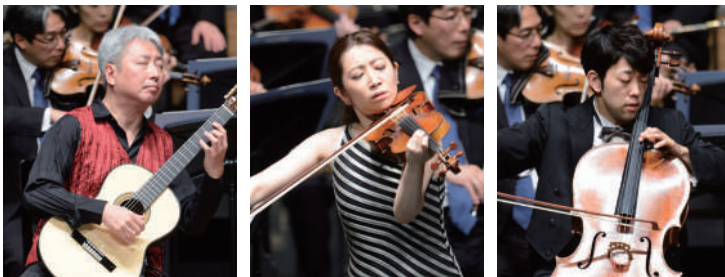
ホールアドバイザーのひとり、小川典子は2018年に開催される第10回浜松国際ピアノコンクールで審査委員長に就任することが発表された。先日亡くなられた中村紘子をはじめ、日本を代表するピアニストが務めてきたこの大役を任されるのは、小川が今後の日本音楽界を背負って立つことを期待されているからだろう。ホールのアドバイザーとして、これまで意欲的な企画を行ってきた小川が今回取り組むのは、ステージ上に座る子どもたちにピアノ音楽の魅力を本気でぶつけるコンサート。子どもにどんな音楽を聴かせたらいいのかわからない? そんな人こそ是非この公演へ!

オルガンによる2時間の演奏会という、普通どうしても玄人向けの内容になりがちだが「真夏のバッハ」では、やっぱり一度は生で聴いてみたい《トッカータとフーガ》から、これぞバッハによるオルガン音楽の代表作《パッサカリア》まで、素人でも玄人でも多様な作品を一夜で楽しめる贅沢なプログラムとなっている。ホールアドバイザーとして誰よりもミュージック川崎のオルガンを知り尽くす松居直美が、豪華ゲストと共に多角的にバッハの魅力伝えてくれるだろう。

(小室敬幸 作曲/音楽学)



魅せた！ 神奈川フィルの三大協奏曲



7月31日(日)出張サマーミュージック@しんゆり! 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 撮影:藤本史昭

恒例の「出張サマーミュージック」は、新百合ヶ丘の昭和音楽大学テアトロ・ジーリオ・ショウワに福田進一(ギター)、木嶋真優(ヴァイオリン)、横坂源(チェロ)と名手が顔を揃え、3種の弦楽器の変則タッグによる「三大協奏曲」だ。

まずは永遠のギターキッズ・福田進一の《アランフェス協奏曲》。粒立ちのよい音で、ギター協奏曲の最高峰を堪能させる。途中ちょっとしたご愛敬もあって、最後、少し照れ気味の笑みで交わす指揮者とのアイコンタクトにこちらもなごむ。コンサートっていいなあ。

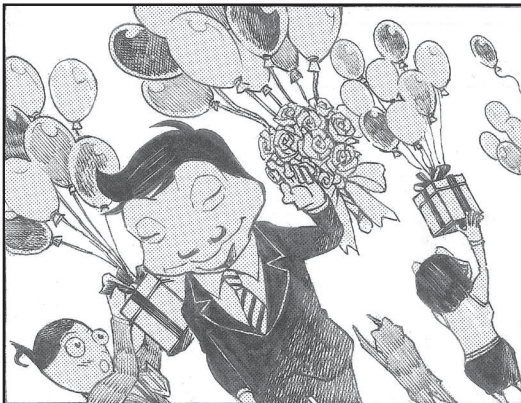
木嶋真優のメンデルスゾーンが圧巻。楽器も身体も表情も、とにかく全部を使って、「私を聴いて」という気持ちがびしびしと伝わってくる。そういえば、十数年前にザ・ホール・ブローンのセミナーで初めて聴いた、まだ少女だった頃の彼女がす

でにそうだった。演奏が始まった途端、前の席の小学生の女の子がびくんと前のめりになって、隣のお母さんのオペラグラスを奪ってガン見していた。わかる! 真夏のしんゆりに降臨したミュージックに客席は熱狂。プラボーより一瞬早く、誰かの唸り声が聴こえた。

トリを取ったチェロ界のプリンス・横坂源のドヴォルザークも快演。オーケストラの長い主題提示のあと、待ってましたとばかりに満を持して独奏が登場すると、若々しいキレのあるパフォーマンスで音楽をドライブしてゆく。はったりやけれども真摯な演奏に多くのファンが酔った。

川瀬賢太郎指揮の神奈川フィルも好フォロー。独奏にぴたりと寄り添いながら、時にアグレッシブなアプローチで濃厚、雄大な背景を描き出した。

宮本明(音楽ライター)



コンサートへの道 第11回 顔を見せないのがゴア一流

The Road to becoming a Concertgoer

画: 井上孝志
文: ミューザスタッフ

お目当ての指揮者への花束を持ってきました! どうやって渡したらいいのかな?—演奏家にとってはコンサートに足を運んでいただき、拍手をいただけるのがなによりものプレゼント。でも時には花束などを渡したいという方もいらっしゃる。ミュージックでは原則、客席内への花束等の持込みはご遠慮いただいています。ホールに入っすぐ右手にある主催者受付でお預かり、責任を持ってご本人にお届けしていますので、開演前にお立ち寄りください。

パートナーショップのご紹介
**エンジョイ!
川崎!!**
Enjoy Kawasaki

クレープ・ジェラート
ディッパーダン

川崎ルフロ1階・パートナーショップリストP.12

サマーミュージック特典 チケット提示で
ドリンクSサイズ30円引き

※詳細はパートナーショップリストをご覧ください

ルフロ1Fにあるクレープ屋さんです。メニューが豊富で、デザート系クレープ・食事系クレープの他にジェラート、タピオカドリンクもあります。しかも毎月9日・19日・29日は『クレープの日』で、クレープ全品300円♪悩んだ末、生クリームといちご・キウイ・バナナ・マンゴーが入ったフレッシュフルーツクレープを購入。注文すると目の前で生地を焼いてくれるので待つ間も楽しめます。ボリューム満

点の具材をもちっとした生地で包んでいます!

疲れた時はミュージックの音楽と美味しいクレープで心とお腹を満たしてみませんか♪

(受付 の&か)



本日(8/5)
コンサート前
のお楽しみ♪

本日の「神奈川フィルハーモニー管弦楽団」公演は「公開リハーサル」のある公演です

11:00~最長13:30
公開リハーサル中のみ、自由席です。

現在会員の方に
“最響の水”が当たる!
サマーミュージック公演のチケットを事前にご購入の友の会会員様、各公演抽選で20名様に“最響の水”をプレゼント!(当選者の座席番号を当日ロビーに掲示いたします。)



当日の感動をすぐお届け!!

毎日
日刊サマーミュージック
Hobo Nikkan Summer Muza

バックナンバーは
ミュージックホームページでも公開中!
<http://www.kawasaki-sym-hall.jp/>

経営管理課 いよ

ご来場ありがとうございます。フェスタサマーミュージックは、皆様のご来場をお待ちしております。フェスタサマーミュージックの夏を乗り切る活力の一助になることが出来れば幸いです。

さて、運営スタッフの多くはホールに併設するオフィス棟の事務所に勤務しています。事務所の窓は開閉することはできません。事務所の窓は開閉することはできません。事務所の窓は開閉することはできません。